

ボケットジャーナル



★美を創るまち神戸の

ファッションコンテスト
ファッション都市神戸を
目指すコウベファッショ
ンフェア74のショーが十月五
日神戸文化ホールで開かれ
た。今年のショーは、第一
線で活躍するデザイナーの
作品にまじってファッショ
ンデザインコンテストの入
賞作品二十八点が発表され
た。コンテストの応募部門
はオートクチュールデザイ
ン部門と既製服デザイン部
門に分れ、前者ではフェ
ミニンなクラシック調が、
後者ではヤング指向のコ
ーデインेटされたカジユ
アルものが優勢であった。
(佐野正男鐘紡ファッショ

ン研究所所長)が概評であ
る。約五百点の応募作品か
ら滝内美鈴さんのコートア
ンサンブルが大賞を獲得し
た。

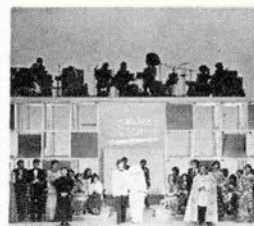
★兵庫県スポーツ賞受賞者

決定

スポーツの普及振興に尽
くしたり優秀な成績をおさ
めた人に贈る兵庫県スポ
ーツ賞の受賞者および受賞
団体が決った。兵庫県スポ
ーツ賞は昭和三十九年に制
定され、今年で三十七個人
十三団体が受賞している。四
十九年度の受賞者四個人二
団体は、十一月三日の文化
の日に文化賞、科学賞、社
会賞とともに表彰される。
受賞者は次のとおり。

個人／定田章氏(夙川学院
高教諭・陸上競技) 白石市
郎氏(会社役員・ウエイ
トリフティング) 吹田大輔氏
(会社役員・水泳) 高田耕
治氏(質商・登山)

団体／尼崎市立尼崎高等学
校運動部 報徳学園高等学
校野球部

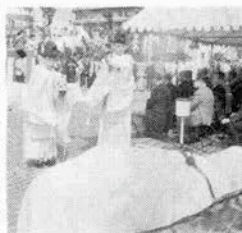


結婚をテーマにしたショー

★日本近代洋服発祥の地顕彰碑が完成

今年の四月十日、岡山県
の北木島から神戸へ運ばれ
てきた石材を、「彫刻家ケ
ルプQ」(山口牧生、増
田正和、小林陸一朗)の三
氏が東遊園地でコッcottと
制作をつづけてきたが、こ
れが「日本近代洋服発祥の
地」顕彰碑として完成し、
十月八日神戸洋服商工業協
同組合のメンバーたちが集
って除幕式が行なわれた。

彫刻のデザインは洋服を
裁断する型紙を形どったも
ので、環境彫刻としても価
値の高いもの。神戸市民の
憩いの場にまた一つ楽しい
彫刻が増えた。



おこそかに除幕式

★元町入口に音楽の流れる

信号機誕生

秋の交通安全運動が始った
九月二十一日、目の不自由
な人でも安心して交差点が
渡れるようにと、元町通り
東口のスクランブル交差点
に音楽信号機がとりつけら
れた。

この信号機は歩行信号が
青になると、交差点の四方

誕生日 ありがとう

運動



障害児関係のラジオ・テレビ番
組紹介

ラジオやテレビなどで、障害児
関係の定時番組がありますので、
視聴をお願いします。

◇NHKラジオ第二

「精神薄弱児のため」
毎週月曜日 午後七・〇〇～七
・三〇

再放送火 今後二・〇〇～二
・三〇

◇日本短波放送

「精神相談室」
毎週月曜日 午後七・三〇～四
・五

「重い障害児のために」
毎週土曜日 午後七・三〇～八
・四

「精神児の教育」
毎週金曜日 午後八・四〇～八
・五

「心身障害者雇用の広場」
毎週火曜日 午後六・〇〇～六
・一五

◇NHK教育テレビ

「福祉の時代」
毎週月曜日 午後四・〇〇～四
・三〇

誕生日ありがとう運動とは

精神薄弱問題の啓発運動です。

みなさんの誕生日のお祝の中か
ら意欲的に百円節約して貯金し
ていただく。各家庭での問題につ
いて話し合う機会をつくってくだ
さい。

このことを手がかりとして、わ
たしたちすべてが、精神薄弱児
(者)をあたたく包む雰囲気を広
げると同時に、ひとりひとりのか
けがえのない生命について思いを
めぐらせ、年に一度の誕生日を有
意義にしようという運動です。

誕生日ありがとう運動本部

神戸市東灘区御幸通八の九の一

神戸国際会館一階郵便局の前

電話二五・八一六 内線三一六

に設置された五つのスピーカーから「お馬の親子」の音楽が三〇秒間流れ、信号が見えない目の不自由な人でも耳で確かめながら渡れるというもので、木曜クラブと三宮ライオンズクラブの協力で完成した。

渡り初め式には神戸市視力障害者福祉協会の会員や生田老人クラブの人たち数十人がカラフルな風船を手に手に参加し、完成を祝った。

★KFSから機関紙発刊

神戸ファッシュン市民大第一期生の卒業生によって去る六月に誕生した神戸ファッシュンソサエティ(KFS/会長・中村武志)から機関紙KFSジャーナルが発刊された。

このKFSは、ファッシュン都市神戸の街づくりの担い手となってファッシュンとは何かをアピールする実行団体としての活動を始めていくが、ライフ・ファッシュンのな方向でビジョンを打ち立てるメディアとして今回の新聞が発刊される。今後ともKFS広報委員会から定期的に出る予定。

★鳴々、ついに貴方も幸せになれるソウルステップ
ファッシュンパザールのステージで大活躍だった神戸R&Bファンクラブのソウルステップ教室が毎週木



ワンツースリーフォーソウル!

曜日の夜六時から北野町の光の丘幼稚園で開かれている。とてもファンキーでソウルフルな踊りを基本から教えてくれる。基本を終えたと応用コースとして京阪神の各デイスコで研修、と

パッチリR&Bダンサーとして大いに楽しめる。音を聞くだけで身体動く人は一度本格的に習ってみてはいかがでしょう。入会金一〇〇〇円、月謝一〇〇〇円

(連絡先 千658東灘区魚崎北8の3の10木村哲生まで)

★秦砂丘子さんのおしゃれ

つぼさを創る本が発行
デザイナーの秦砂丘子さんの著書『ファッシュンナブル』が、なぜ結婚にあこがれるか(下重暁子著)「幸せってなんだろ」(石井ふく子著)など現代日本の各分野・第一線で活躍中の女流執筆陣を網羅する『はびるすBOOKS』のひとつとして出版された。

秦砂丘子さんは、大阪に生れ、神戸女学院大学文学部を卒業し現在ニット・デ

ザイナー、カラーリストとして活躍中であり、一九七〇年度の日本ファッシュン・エディタース賞の受賞者でもある。

おしゃれはいあなたと、おしゃれのエスプリ、ファッシュンナブルのしやれた関係であるための38の秘訣集。感覚的色彩論、黒髪宣言を主張する著者のセンスを表わしたシンブルな装丁は、小脇にかかえて街を歩くだけであなたのセンスを変える素敵なもの。



「ファッシュンナブル」

★フラメンコを引っさげて神戸っ子が帰ってきた

スペインの「ラファエル・デ・コルドバ」のグループの一員としてヨーロッパで活躍していた神戸出身のフラメンコダンサー、東伸一矩さん(28歳)が四年ぶりに帰国、元気を顔を見せた。

今回の日本滞在予定は一年、踊りは自己表現だという東伸一さん、踊る場さえあれば本場で吸収したフラメンコの「アツと驚くような」リサイタルをどんどん地元で持ちたいという。

外国にいて、いよいよ自分日本人であることを痛

美術ガイド



★兵庫県立近代美術館

マイヨール展 10/10 - 16/11

フジタの時代 10/10 - 16/11

★白鶴美術館 10/10 - 16/11

白鶴秋展 9/15 - 11/24

★南蛮美術館 9/15 - 11/24

秋季特別展「南蛮美術展」 9/15 - 11/24

★さんちか広場 9/15 - 11/24

私立大学展 9/15 - 11/24

オーストラリアフェア 9/15 - 11/24

エマウスバザール 9/15 - 11/24

技能フェスティバル 9/15 - 11/24

★ギャラリーさんちか 9/15 - 11/24

新協美術秋季展 9/15 - 11/24

人形展 9/15 - 11/24

ラオス写真展 9/15 - 11/24

水彩連綿寺公展 9/15 - 11/24

関西版画連展 9/15 - 11/24

★KCCアートギャラリー 9/15 - 11/24

兵庫県文化賞受賞作家美術展 9/15 - 11/24

兵庫県日本画30人展 9/15 - 11/24

★KCCギャラリー 9/15 - 11/24

第3回北都家族水墨画・書道展 9/15 - 11/24

第23回三筆社展 9/15 - 11/24

第9回井本恵昭日本画個展 9/15 - 11/24

紅の会絵画展 9/15 - 11/24

灘美術館研究所絵画展 9/15 - 11/24

★ぎやるりー神戸 9/15 - 11/24

兵庫県日本画選抜作家展 9/15 - 11/24

創元会会員赤木蘇夫二回展 9/15 - 11/24

★ギャラリー新光 9/15 - 11/24

本出雅子クラフト展 9/15 - 11/24

池水鈴子陶芸展 9/15 - 11/24

平野小PTAOB有志「彩雲会」 9/15 - 11/24

絵画グループ展 9/15 - 11/24

日本海事検定美術部展 9/15 - 11/24

グループ躍へ油絵展 9/15 - 11/24

古伊萬里展 9/15 - 11/24

KOBE POST

★大阪フィルの朝比奈隆・千足氏の自宅電話番号がかわりました。
〒670 神戸市灘区篠原北町4ノ4ノ3
☎078(八八八)二二六一

★独立美術の吉見敏治さんの自宅電話が変更しました。
☎078(七三三)五五六五
〒650 長田区本庄町4丁目4ノ4

★彫金デザイナーの古賀佐和子さんが阪急芦屋川近くで「アトリエジル」の教室を10月から開いてます。芦屋市松之内町10ノ17幸楽マシオンRN101 ☎079七九七(二二)二四七一 連絡先東灘区甲南町四丁目七ノ八 ☎41一三〇七六

★本誌編集部員であり「世界の福祉施設」の著者橋本明さんが、十月十九日上野千代子さんと神戸国際ホテルで結婚式を挙げました。
★センター街中川衣衣店の子息中川護さんが、九月二十四日恵美子さんとオリエンタルホテルで結婚されました。おめでどうノ
★パリから画家の松谷武判さんが帰国されています。

★本誌「PEOPLE OG KOB」でおなじみの神大の野口武彦さんが、アメリカから帰国されました。
★11月30日(土)、午前11時から午後3時まで、日英協会婦人部主催「クリスマス慈善バザー」が、相楽園会館1Fで盛大に開かれますので御来場を、お知らせがしました。

岡田淳さん



四冊目の本
「木」なかなか好評です

げる木琴の音色が秋のひとときを楽しませてくれる。入場無料。

同協会は、昭和二十八年に創立し、東京に本部を置き、全国に十九の支部をもち、木琴音楽の指導、発展に寄与するため、奏法の指導、発表演奏会、情報交換

木琴楽譜・録音テープの製作を行っている。阪神支部への連絡先は、〒652 兵庫区会下山町3の81の5
伊藤美希夫 ☎511-3023

★一本の線に夢を与えて
本誌連載中のアンデル線で、軽妙なペンタッチの中にユーモアとメルヘンの世界を描く岡田淳さんが四冊目の本「木」を出版。

漫画といっても、文字の息づいた——やはり、ファッションバザールという言葉の持味もあってか若いカップルから家族的な連れだちも、すべてがファッショナブルな感じで集まった。

会場のとんぼ広場ではジーンズのファッションショーがひらかれていました。このショーに特別参加した石津謙介氏はこのファッションショーの観衆のファッショナブルないでたちに、さすがは神戸だと賞讃していた。

花時計



★ファッションバザール考

神戸の街角に三色旗がひるがえり、十月五日から十日まで六日間、ファッションバザールインジヤパンが華やかに開催された。

会場の東遊園地一帯はファッション界限として

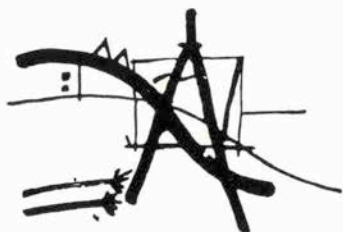


秋の夜とマリンバと

感じたという彼も、久しぶりの日本には、みんながあまりに毎日を急いで暮らしている様子を、ちょっと首をかしげたそう。とまれますます意気盛んな彼の活躍が楽しみである。
★芸術の秋に木琴の音色を十一月十七日(日)二時から県民小劇場で日本木琴協会阪神支部の主催による『第17回選抜マリンバ演奏会』が開かれ協会メンバーの一流演奏者のべ二十三名が十六ステージにくりひろ

(K)

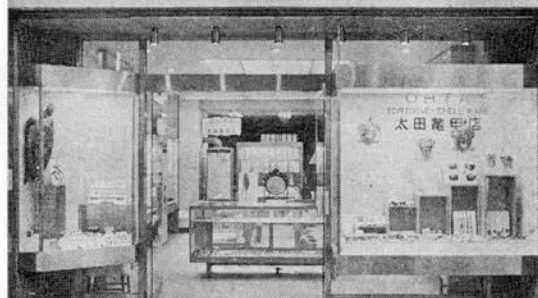
額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
331 1309・6243

太田鼈甲店



ベッ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195

AUTUMN KOBE SHOPPING

* ご進物に……………

バウムクーヘン・クッキー

マドレーヌ・ユーコン・ブイ

クリームシモン・ユーパン

その他各種洋菓子

をどうぞ!

北欧の銘菓

ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市葦合区熊内町1(市立美術館東隣) ☎221-1164

■三宮センター街本店 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) ☎331-2421

■さんちか店、神戸大丸、そごう・阪急店、三越・元町店、神戸デパート内



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

三恵洋服店

元町4丁目 TEL(341)7290

高級紳士服専門店
神戸テラー



さんちかメンズタウン TEL (391) 0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL (331) 2817・3173

お慶びの日に カメヤの
心からの贈りものを!



おもちゃの

カメヤ



三宮方面でのお買物は…
さんちか店 ファミリータウン 391 4045
三宮店 市街地改造のため仮店舗にて営業中
元町方面でのお買物は…
元町店 元町通3丁目山側 331 0090
パンブウ店 元町通1丁目不二家前 391 0768
神戸駅前10月1日オープン
サンこうべ店 神戸駅前地下街 351 6002

AUTUMN KOBE SHOPPING

やっぱりうまい
むさしのとんかつ

ムサシ

ムサシ

でんわ・

321 321 331—三七七一
—〇六三四
—〇六三五

おすし
てんぷら

榮 彌



本店 大丸前・三宮神社東

TEL (331) 5772
5673 14

(毎週水曜日休み)

支店 さんちか味のれん街

TEL (391) 5233

(第3水曜日休み)

営業時間
A.M. 11.30~P.M. 9.00

まだ遅くない

葉月 一郎

え・小西保文(題字も)

〈14〉霧の夜

和室の八畳一間。窓際の縁側に三点セット。

その窓から、はるか下界が見えた。

「百万ドルの夜景」などと、誰が形容したのだろうか、宝石のような夜のまたたきが、休みなく六甲の屋根にまで届いている。

さらさらした世間と結びつくのは、この窓だけだ、と戸波は思う。このホテルの閉ざされた空間に、いま亜紀子と二人だけの世界がある。

向かいの椅子に腰をおろした亜紀子に、あらためて視線を送った。

亜紀子は、さっきから、じっと戸波をみつめていたらしい。二人の視線がからみあい、瞬間になごんだ。

(とうとう、来たんだな)

(やっと、二人きりになれましたね)

声のない会話が、まろやかに流れたような気がする。ほかに誰もいない。しようと思えば、なんでもできる。



〈あらすじ〉昭和四十五年秋。毎朝新聞神戸支局の戸波敏記者は、意欲的な日常の中でバーの女ユカとの情事に溺れていたが、地元の大企業兵庫製鉄(兵鉄)の公害でユカたちが苦しんでいることを知り、石津支局長たちの企画した公害キャンペーンに参加する。

その直前、戸波は静客にからまれていた兵鉄秘書課の細川亜紀子を助ける。後日、亜紀子は、会社首脳らが協議した新聞社対策などの内容を相次いで戸波に知らせ、唇を与えて「好きだ」と告げたりする。

公害告発の取材は大詰めを迎え、兵鉄の和久井社長、大北専務らとの会見も実現するが、会社側は高姿勢の答弁をつづける。そして、毎朝新聞に対し広告の掲載を取りやめるなど圧力工作をはじめる。

戸波との接点の内容を会社の花房総務部長に逐一連絡していることで、亜紀子に疑惑を持った戸波は、ある夜、亜紀子を問い詰める。一筋、涙を流したものの、答えようとしないうちに亜紀子を誘い、二人だけの夜を持つと、戸波は六甲山頂のホテルヘタクシーを飛ばした。

——そんな状況なのに、二人を包む空気に硬さは消えていた。もう何回か、ここへ泊ったことのある夫婦のような日常性さえ感じられる。

それが、戸波の心を一層ほぐしてくれた。

そのまま立ち上がる。亜紀子の前に進む。両手をさしのべる。

戸波を追っていた亜紀子の瞳に、一瞬、灰色の影が走った。そして、閃光のように消えた。

ずっと亜紀子も立った。

影も迷いも、もうない。ほのかに恥じらいの色をのせて、白い頬が戸波の腕の中に落ちた。

長く、しなやかな髪ごと、抱き寄せる。頬いっぱい星あかりをうけて、眼を閉じた亜紀子の顔が静かに仰向いてゆく。

なにかものいいたげに喘ぎはじめた唇に、唇を合わせた。

次第に荒らあらしく、くちづけがつづく。

湿りを帯びた体温が、胸から胸へ伝わってきた。かすかに震えを帯びた下半身を、力をこめてひき寄せてゆく。須磨の海辺でかわした初めてのくちづけを、遠い記憶から想い起こす。

あのときから何ほども経っていない。同じ行為なのに、しかし、この違いは何と説明したらいいのか。

息苦しさには耐えきれず離れた女の唇が、時を置かず逆に戸波を求めた。その激しさの中に、亜紀子の情念をつかんだ想いがする。

ついさつき、海辺のレストランで、ふと見せた一筋の涙——。そして、このくちづけ。

(個人的感情と、会社がらみの一連の行為とは別です)

亜紀子は、精いっぱいそういいたかったのだらう。涙の持つ意味を、いま唇に結びつけながら、戸波は女のこのを吸いこみにつける。

関心は、持っていた。広い意味の好感といってもいいそして、それがいま、まさしく愛と呼べるものに昇華したといえなくもない。

皮肉な、運命のめぐりあわせ——などということは、もう考えまい。

ドアがノックされた。

「おふとん、敷かせて頂きます」

折目正しいボーイが二人、部屋へ入ってきた。手早く、

しかも無表情に、二組のふとんを並べて敷く。

まぶしそうに、戸波は、その作業を目で追う。気恥ずかしい、席を外したくなるような気分に見られる。

(こんな情感は、いつごろから忘れてしまったままだった……)

丁寧に、そして事務的に頭を下げると、ボーイたちが部屋から消えた。

じつと窓外をみつめたままの亜紀子に気付く。たったいままで戸波の腕の中にいた細い肩を、霧まじりの鋭い夜気が包んでいる——。

「ふろへ行かない？」

声をかけながら近寄る。

振り返り、視線があうと亜紀子は微笑をつくった。そして、またゆっくりと顔を窓に寄せた。

椅子に腰をおろして、戸波は女を斜めに見上げる形になった。

「ね、食事のときの話のつづき、しません？」

横顔を見せたまま、亜紀子がつぶやく。

「つづき？」

「もつと私を、問いつめるつもりだったんじゃないんですか」

「あ、あれか。そんなことは、もう、いい」

「よくないわ」

思いがけず、強い口調が返ってきた。

「あなた、新聞記者でしょ。もつと徹底的に、根掘り葉掘り、真実を追及しなさい……」

意表を衝かれたかたちで、苦笑する。亜紀子は、そんな戸波を尻目に背後の冷蔵庫をあけて、ビールとコップ二つを取り出した。栓を抜き、テーブルに置いて、戸波のコップに注いでゆく。

「さ、飲みながら、取材を進めてくださいよ、ね」

十分前、あついキスをかわした前後とくらべて、口調も表情も、すっかり変わっているのに戸波は気付く。

(まるで、別人ではないか)

亜紀子は、自らもビールをあおると、ことばをつづけた。

「私、戸波さんの気持ち、うれしいと思ってます。好きだといって、ここまで誘ってくださったこと、本当にうれいんです。でも……」

そこで一呼吸おくと、亜紀子は戸波にビールをすすめた。そして、部屋に並べて敷かれたふとんの方へ視線を移した。

窓から流れこむ六甲の夜気に、冬のいろがまじっている。そのせいかどうか、急に戸波の背筋に悪感が走った。

「でも……どうしたって、いうの」

「愛してくださるんだったら、もっともつと私のこと、知ってほしい」

「君のこと？」

ゆつくりと、亜紀子が正面へ向き直った。戸波と、まるで対決するかのように姿勢を正す。その瞳に、暗く深い影が走って消えた。

戸波の心に、さざ波のような動揺が起きる。亜紀子への愛の中にまじっている不確かで曖昧な部分を、細く鋭い針で刺されたような……。

愛は、男をしばしば性急にさせる。反対に女は憶病に、慎重に振る舞いがちである。

亜紀子が、コップを握ったまま切り出した。

「ね、戸波さん。あなた、九州の市長汚職誤報事件って、おぼえてはりますか」

「誤報……？ ああ、たしか、僕が入社する前、もう十二、三年になるかな。記者が自殺してから真実がわかったという話だね」

「よかった。知ってくれてたんですね」

かすかに白い頬へ血のいろが昇った。

「そりや、まあね。第一、うちの社の出来ごとだからね」新聞記者を夢みて、まだ大学で法律を専攻していたころの話である。当時、週刊誌でよく書かれたし、入社してからも宿直の夜などに先輩から真実を聞かされもし

た。

九州のある県庁所在地都市――。

保守系の市長が収賄している事実を毎朝新聞が大きく報道した。市庁舎建設をめぐる便宜をはかってほしいと建築業者からのまれ、現金百万円を受けとった、という。

その席に立ち会った助役が新聞社へ情報を流したのだ。領収書のコピーまで示された。市長は記者の追及に事実を告白した。業者も、包みきれずに白状した。

シリの重い警察を嘲笑するように、特ダネ記事が市民に届いた。市長排斥の世論がわき立った。

だが、ようやく捜査をはじめた警察の調べに対して、市長も業者も、頭から贈収賄の容疑を否認したのである。いや、第一ヒントを記者に教えてくれた助役までが、全くシラを切りはじめた。新聞のデッチ上げだ、と市長をかばう発言を繰り返した。

最大の証拠だった領収書のコピーもなくなっていた。領収書の原簿まで、いつの間にか別ものになりかわっていた。

市長は、逆に新聞社を名誉毀損で告訴してきた。記者たちは取材のときのメモを楯に反論したが、形勢は刻々と不利になっていった。

全面訂正記事の掲載。

担当記者と支局長の戒告処分と左遷人事――。

読者からみれば、あきらかに新聞のいさみ足であり「敗北」という結論が出たのである。

たしかに、常識的には、司直の取調べ以前に記事を出したことは、問題が残った。

だが、この封建的な土地柄で、行政と警察との癒着は想像以上のものがあり、市長らの告白があるからには記者の正義感がそのまま活字に結びついても不思議はなかった。

処分発表の三日後、記者は自殺した。記事に対する自信を書き綴った遺書があった。

すべてのカラクリが明らかになったのは、半年もしてからのことだった。

市長の座を狙っていた助役が、新聞社に洩らしたのは事実だったのだ。

記事が出たあと、元知事や国会議員らの長老が多額の現金で助役の口を封じ、逆の証言をさせた。領収書も一冊分すべて新しく書き替えられた、という。

助役の二度目の造反。問題の領収書が地方検察庁へ提出され、あらためて汚職事件が半年ぶりに白日のもとにさらされた。

しかし、あの若い担当記者のいのちは、二度とよみがえってこない……。

「あの事件、ずいぶん、いろんな形で、僕らも教訓を受けたなあ。でも、それが……」

いったい亜紀子とどういう関係があるというのだろうか。戸波は、亜紀子のくらしい瞳をのぞきこむ姿勢になった。

亜紀子は、かすかに吐息をついた。

そして、かすれた声で告げた。

「あのととき自殺した記者、私の一番上の兄です」
うっと息をのむ。

深い憂愁の底に漂っている亜紀子の表情を、突き刺すようにみつめる。

(そうだったのか)

少しずつ、疑惑の黒い影が溶けてゆく。

新聞に対する強い関心、戸波の仕事への理解と協力――勤務先から新聞社の動きをさぐるように指示されているとすれば、それは何という皮肉なめぐり合わせだろう。

そんな運命の中で、この女がどんなに苦しんだことか。

戸波は、ことばもない。

たしかに、あの死んだ記者は細川といった。亜紀子と同姓である。

「私、まだ中学生でした。でも、一貫して兄を信じてました。だって、そんなデタラメを書くような軽率な人間じゃない。むしろ鈍重なぐらいノンビリ屋だったんですもの……」



兄の遺骸が西宮の実家に届いた日、はじめて父が泣いた。旧軍人だった父は、その日から啞のように沈黙を守った。

「心筋こうそくで死んだのは、すべての真実がわかるほんの十日ほど前でした。兄や父の無念さが、そのときからずっと私の胸の中に生きてるみたいで……」

「……………」

「戸波さん、あなたは、あれ以来、私が出会った最初の新聞記者なの。そう、ちょうど年齢も、生きていたら兄と同じくらいで、はじめから他人とは思えなかったわ」
須磨、そして、三宮の夜。亜紀子が洩らした愛のことばは、やはり真実の声だったということだろう。

戸波は、亜紀子との間にわだかまっていた得体の知らない幕が、つきつきと取り払われてゆく想いだった。

「いろいろ、疑ったりして、済まなかったね」

「いいんです。私、戸波さんとめぐりあったこと、うれしいと思ってるんだもの。だから、ここに、こうして……」

戸波は、あわてて首を振った。

亜紀子に近づいたのは仕事のためである。だが、男として心の底にある一種の卑しさは、どう否定しようものではないか。

しかし、亜紀子は、どこか肩の荷をおろしたような表情でことばを続けた。

「戸波さんたちの、いまの仕事、とても意義があると思います。私、立場を離れて、やりとげてほしいと、いつも願ってるんです」

「わかってる。本当に、ありがとう」

「いや、ありがとうだなんて……。私なんかお手伝いできることは、しれてるし、それに、会社にもある程度は義理を果たさないとけないし……」

公害工場の従業員としての心の屈折。たとえ五年あまりとはいえ勤めてきた企業に対する愛社心めいたもの。

「うまくいえないけれど……」と断りながら、亜紀子は

心の中を少しずつ吐き出していた。

「そうそう。広告の差しとめ、とうとう来たよ」

戸波のことばに、亜紀子は一瞬おびえたように身をすくめ、そして眼を伏せながらつぶやいた。

「それだけじゃない。もっともつと圧力がかかって来るかもしれないわ」

蚊のなくような、細い声だった。

長い髪が、膝に届くほど垂れて揺れた。

「具体的に、どんな……」

亜紀子は、うなだれたまま首を振った。ひときわ大きく髪が揺れた。

「毎日のように、そのことで、会議が開かれます。だから、きつと、何か……」

顔を上げると、亜紀子は急に立ち上がった。激しい勢いで戸波の胸に身体ごとぶつつけてきた。

「お願い、抱いて。強く、抱いて」

「……………」

乳色の霧が、窓から流れこんできた。震えを帯びた亜紀子の肢態にまとりつくように濃さを増している。

「亜紀ちゃん」

はじめて、名前を呼んだ。

抱きしめる。額に唇を当てる。それをはねのけるように、亜紀子は唇を求めてきた。

激しくちづけの中で、戸波の思考が停止する。

亜紀子は、会社と戸波との間で揺れ動く日常から脱したいのではなからうか。はつきりと戸波の側につくことを望んでいるのではないのか。

(いま、そこまでいってしまっているのだろうか)

主のない二組の夜具が、しらじらと部屋中央を占領しているのに戸波は気付いた。

(つづく)

神戸のうまいもん&ドリンキング

★日本料理

そば 吾作
神戸市生田区中山手通2丁目3-17
TEL 242-2858

讃岐名代うどん あこや亭
神戸市東灘区旗塚通7-5 TEL 231-6300
トアロード店 TEL 391-2538
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食 くれなゐ
三宮生田新道浜側中央
KCBビル2F TEL 331-0494

かつばう 花くま
神戸市生田区花隔町45
TEL 341-0240

鍋もの・おむすび 悟味西
お茶漬・かばた
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび 鍋もの ふる里
神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535

たこ焼 たちばな
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

北海道郷土料理 蝦夷
神戸市生田区中山手通1丁目115
生田区東門筋東門会館ビル1階
TEL 331-7770

カニ料理 婆娑羅(ばさら)
神戸市生田区北長狭通1丁目18
三宮阪急西口北側レインボープラザ1・2F
TEL 321-6363

★西洋料理

レストラン アポロン
神戸市東灘区八幡通5丁目6
TEL 251-3231

レストラン 虫皮<あらかわ>
神戸市生田区中山手2-9
TEL 221-8547・231-3315

GALLERY & STEAK HOUSE SAN-MON 三門
神戸市生田区中山手通2丁目98/99
TEL 331-5817

ステーキハウス れんが亭
神戸市生田区下山手通2丁目34
TEL 331-7168

レストラン セントジョージ
神戸市生田区北野町1丁目130
TEL 242-1234

レストラン 男爵
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode 花屋敷
三宮フラワーロード市役所前
TEL 251-2109

鉄板グリル きゃんどん
神戸市生田区北長狭通2-22
TEL 331-1183

レストラン キングスアームス
神戸市東灘区磯辺通4-61
TEL 221-3774

居酒屋 風れすたらん 井戸のある家
生田新道新世紀南
TEL 331-5664

レストラン ムーンライト
三宮・生田新道
TEL 331-9554

串かつ店 和蘭陀屋
三宮相互タクシー北入
TEL 321-0230

グリル・鉄板焼 月
神戸市生田区北長狭通1-24
生田神社前 TEL 331-2509

BARBECUE & STEAK 六段
生田区元町通3丁目
TEL 331-2108

イタリア料理 ドンナロイヤ
神戸市生田区明石町32
明海ビル地階 TEL 331-7158

レストラン ハイウェイ
神戸市生田区下山手2-20
TEL 331-7622

ピッツアハウス ピノッキオ
神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン フック東店
神戸市生田区栄町1-5-3
TEL 321-3207

ピザ&スパゲティ ガルの店
三宮区琴緒町5丁目1-7
西山ビル1F TEL 241-9025

レストラン ミリオナークラブ
生田区山本通2丁目50の2
レストラン 231-9393~5
メンバーズ 221-1162

ドリンク&レストラン ベルビュ・ドール
神戸市生田区中山手通2丁目101 大津ビル2F
TEL 321-5677

フオーク ウェスタン ローストシティ
神戸市生田区三宮町3丁目22
TEL 331-3770

RESTAURANT & BAR ゴックスタッド
生田区山本通3丁目18 回教寺院前
TEL 242-0131

メキシコ料理 ティファナーナ
神戸市生田区中山手通1丁目4/12 パールコーポラスビル1F
TEL 242-0043

ドイツ風音楽レストラン コーベ・ローレライ
生田区北長狭通6丁目39
TEL 371-0086

★喫茶 宮水の にしむら珈琲店
中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 221-1872・231-9524

センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669

北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467
(会員制) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶・レストラン バロ ン
神戸三宮サンブラザ地下
トアロード店 TEL 391-1210

喫茶 ガーディニア
神戸市生田区東町113-1 大神ビル1F
TEL 321-5114

珈琲 モーツァルト
神戸市生田区山本通2丁目98 グランドマンション1F
TEL 241-3961

★club くらぶ 阿似子
神戸市生田区中山手2丁目89
TEL 331-6069

c l u b 飛鳥
神戸市生田区中山手1丁目117
TEL 331-7627

c l u b 小万
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638・4386

c l u b さち
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120

クラブ 千
神戸市生田区下山手通2丁目21
TEL 391-1077

c l u b なぎさ
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

e l u b 落<ふき>
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515

くらぶ ぶーげん
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-8593

c l u b Moon Light
BAR TEL 331-0886・391-2696
Club TEL 331-0157

クラブ るふらん
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

★STAND & SNACK スタンド 英国屋
生田区下山手通2-6 相互タクシー横
TEL 331-1100・331-6600

洋酒ハウス 雑貨屋
生田区下山手通2丁目8の6
(生田新道相互タクシー横上る) TEL 321-0260

スタンド グラムール
生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

SNACK MATSUMOTO
神戸市生田区中山手通1丁目32-3
曾根ビル1F TEL 241-5470

カクテルラウンジ サヴォイ
高梁山側 テキの店北
TEL 331-2615

スタンド 晴海(Sei-kai)
生田区北長狭通2-141
TEL 321-2250

DRINKING IS AN ART OF LIFE ウッドハウス
神戸市生田区下山手通1丁目32
PHONE 078-241-7320

スナック ビジービー
神戸市生田区中山手2丁目
TEL 391-4582

居酒屋 ボルドー
生田新道浜側中央KCBビルB1F
TEL 331-3575

Wine and something 珍地理屋
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトブラザ1F TEL 242-0288

サロン 神戸 時代
生田区中山手通1丁目28
シャトウコトブキビル TEL 242-3567

スタンド くる実
生田区中山手通1の72
TEL 331-6985

洋酒の店 キャンティ
神戸市生田区北長狭通2丁目3
TEL 391-3060・391-3010

スーパ&パン店 キャンティ北店
神戸市生田区下山手通3丁目8-9 TEL 331-3661

DRINK SNACK スネカジリッ子
神戸市生田区下山手通2丁目
水晃ビルB1 TEL 391-8708

Stand&Snack ティー&ドリンク サントノーレ
生田区下山手通2丁目トア・ロード
TEL 391-3822

Salon de roulette パンドラ ルーレット教室 サントノーレ
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
ダイワナイトブラザ6F TEL 241-1710・221-3886

素舌洞 でっさん
神戸市生田区北長狭通1丁目258
TEL 331-6778

STAND マシュケナダ
生田区下山手通2丁目ちやいなタウン地下
TEL 331-5587

スナック GASTRO
神戸市生田区中山手通3-20
トアマンション TEL 231-0723

スタンド クラブ・ガーデニア
神戸市生田区中山手通1丁目115
東門筋中島ビル2F TEL 391-3329

SNACK 山の手
神戸市生田区中山手通1丁目
ソネビル1F TEL 221-3637

スナック 比奈古多
とらふ料理 神戸市生田区北野町1丁目143
Tel. 241-1306

サロン アルバトロス
生田区中山手通1丁目24の7
大和ナイトブラザ2F-B TEL (231) 3300

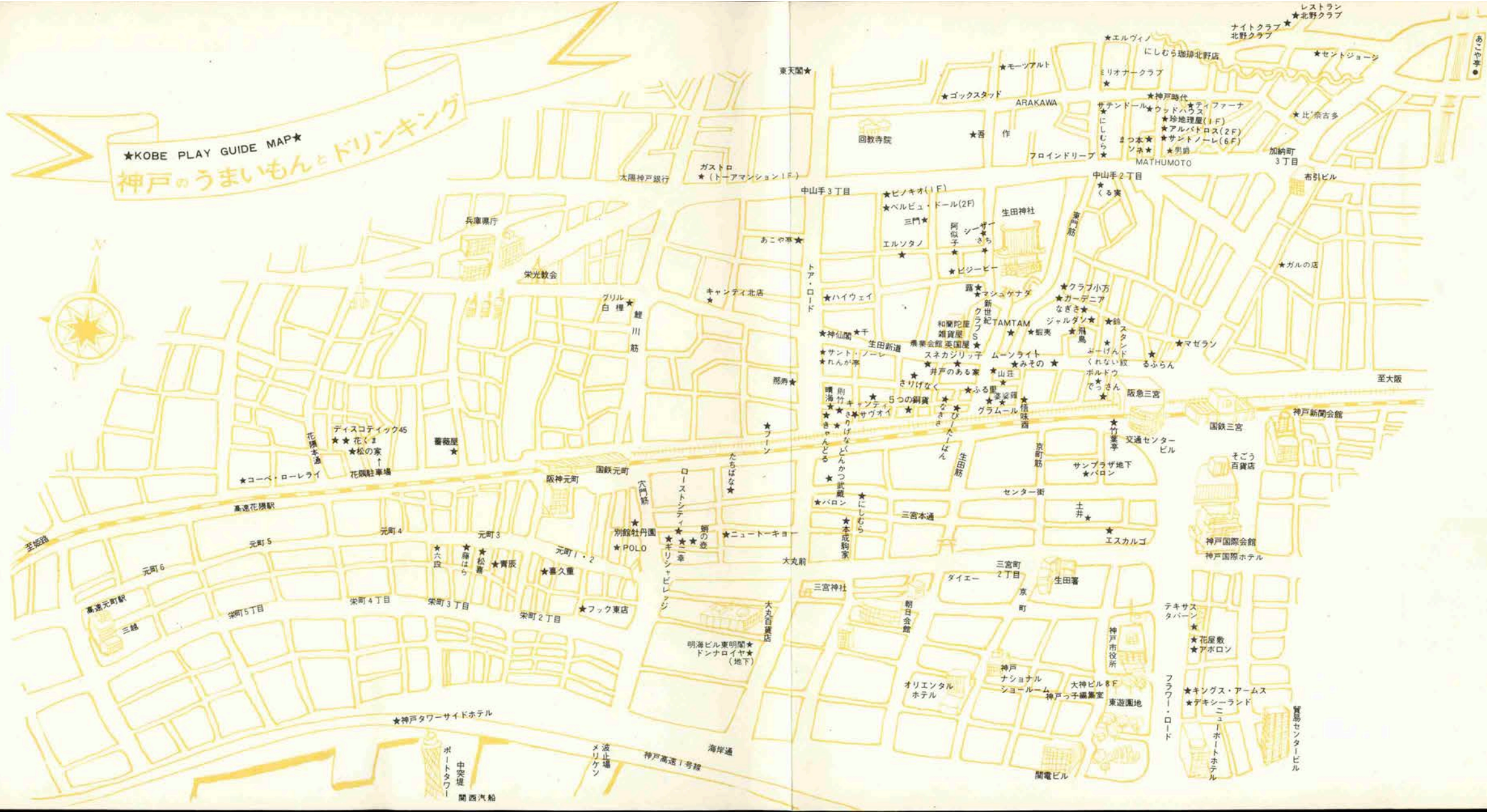
スナック エルソタノ
神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620

スナック 山荘
神戸市生田区北長狭通1丁目22
TEL 391-5823

スタンド 紋
神戸市生田区北長狭通1丁目41-1 レンガ筋
TEL 331-8858

★KOBE PLAY GUIDE MAP★

神戸のうまいもん＆ドリンキング





アルバトロスは、この11月で
5周年を迎えることになりました。
これも、ひとえにみなさま
方のおかげと感謝いたしてお
ります。今後ともよろしくお願
い申し上げます。(戸井)

The salon of selected people
アルバトロス

生田区中山手通1丁目24-7
ダイワナイトプラザ2F
PHONE 231・3300

●毎週第4日曜日にはジャムセッションをやっています



オープンして はや三年。
 さんプラザのバロンは
 おかげさまで 皆さまに愛され
 親しまれる店に育ちました。
 これからもよろしく願います。



バロン

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
 TEL 391-1758 AM11:00~PM 9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
 TEL 391-1210 AM10:00~PM 9:00迄

★コーヒーショップセンター街店
 TEL 391-1375 AM10:00~PM 9:00迄



神戸のくらぶ山川が淡路島にオールシーズンロッジをオープンしました。

只今会員募集中です。お問合せはofficeへどうぞ！



1階 応接室



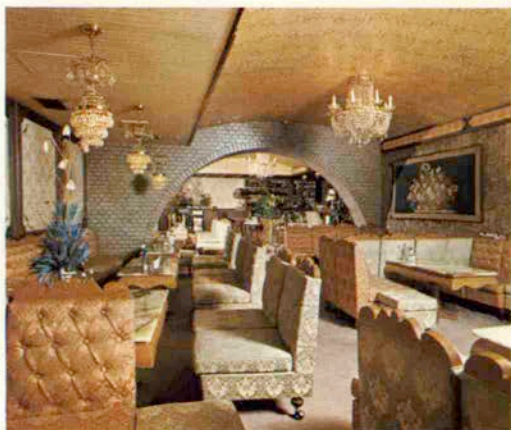
AWAJI

**YAMA
KAWA**

兵庫県津名郡五色町都志角川字土井越1467番
PHONE 07993-3-0352 OFFICE 078-391-1958



2階 和室



くらぶ 山川

神戸市生田区北長狭通1丁目28の1 (ホワイトローズビル3F)

電話(078)331-3225・9327

私とくらぶ山川〈2〉

私達のように昼間仕事に追いまわされている者にとって、夜の社交場は憩いの場でもあり明日の活力を蓄える場でもある訳です。

だからこそ三宮で数多くあるクラブの中から皆んなそれぞれ自分に合う、安心して遊べる店を選ぶのだと思います。

私も何軒かのホームグラウンドの中の1軒としてクラブ“山川”を良く利用します。

ママさんが経験も豊富だし苦勞人で安心して遊べる店だと思います。

自分の行きつけの店が、良い店であり評判が良く人気があると言う事は、私達客にとっても嬉しい事です。

協同商事株式会社 社長 山田 健次

私の店は早くから軟水を使っています。いいものをとり入れることに躊躇してはダメですよ。GSは水商売の救世主、といっていますが、確かにそうです。決して大袈裟じゃありませんね。
(ガストロ)

水割の出は軟水を使っているかどうかにかかっていますね。だって、誰でも口ざわりがよければ、どんどん空けて下さいますからね。頼りになります。
(ミヨコ)

RESTAURANT & WINE

GASTRO

生田区中山手通3-20
トーアマンション1階
☎231-0723

うちでは、コーヒーや水割に軟水を使っています。同じ飲んで頂くのなら、味のいいものを……。お客さまを大切にする店なら軟水を使うべきですね。
(リーベ)



SNACK

345

生田区中山手通1-91-74
三共ビル2階
☎391-3236

K D
Tomorrow's World Today

- この秋の不景気をのりきる
- 償却は1週間、その後は利益アップ1本
- 現在一流店、有名店ではすでに使用中
- GS会員にはアイデアや新製品をコンサルティング
- 欧米では常識、インテリアにアクション

〈総発売元〉



KANSAI DIVISION CO INC.

GS事業部 TEL.078-241-3830

TEA & SNACK

LIEBE

葦合区熊内町1-1-2
☎241-7334

民芸風の落ち着いた大小のお座敷と、お気軽なテーブルの御食事処



- うどんすき..... ¥ 1,200
- 寄せ鍋..... ¥ 1,200
- すき焼..... ¥ 1,500
- しゃぶしゃぶ..... ¥ 1,500
- かにちり..... ¥ 1,500
- 魚ちり..... ¥ 1,500

●ランチタイム…定食二割引
※御宴会は80名様迄・ご家族様の小部屋もございます。

民芸風 お食事処

鍋物・会席

楽 珍

阪急三宮西口北レインボーラザ3F
三宮阪急西口店 ☎321-5200(代表)

四季おりおりの 旬の味覚を存分に……

“娑婆羅”は かに料理を中心に
四季おりおりの旬の味覚を存分に
ご賞味いただく和風レストラン…
ご商談・ご宴会・ご家族連れまで
あらゆる集いに ご利用ください

 ホテルの味 直営店

季節料理
娑婆羅
ばさら

神戸・三宮阪急西口北側レインボープラザ1・2F
☎(078)321-6363



かに料理店

かずかずの海の恵みが
味わえる季節……
なかでも
日本海のカニの味覚こそ
その王者といえましょう。

カクテルサルーン

Mermaidは
神戸のオアシス!

貨物船ムード!

ゴージャスな雰囲気!!

各種洋酒、その他料理も多くとり
そろえて信じられない程安い価格
でお楽しみいただけます。

▲メンバーボトルも御利用下さい。



カクテルサルーン

マーメイド

神戸・三宮阪急西口北側 レインボープラザ地下
☎(078)331-7660
営業時間 — PM5:00 — PM11:30



メキシコ料理の店 生田区中山手通1-4-12
パールコーポラスビル1F
☎ 242-0043

TIJUANA

KOBE DRINKING GUIDE

DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32

WOODHOUSE

山内ビル
☎ 241-7320



Snack & Boutique 生田区再度筋町35-1
☎ 341-5223

LOTIE

Restaurant
Calvados

生田区山本通4丁目97
☎ 231-6137~8



太陽の国“メキシコ”、情熱と音楽の町“メヒコ”、
タコスを手元にテキーラを飲み、アミーゴ(友)と共に
唄おうじゃないか!

サルー(カンバイ)! メヒコ! サルー! ハボン!

そんなムードが店全体に満ちているティファーナ。
貴方達も一度、ティファーナに来てみませんか。そして、
アミーゴをつくり、また、恋人との語らいに愛の
セレナーデを聞き、二人のムードを楽しんで下さい。

☆タコス ¥ 500 チリコンカルネ ¥ 600 テキーラ ¥ 500
6:00P.M.~2:00A.M. 火曜日休み



ティファーナ



ウッドハウス

★白い息からのがれて、“ウッドハウス”のドアに手をふれてみると、
長い夜を語り明かせる何かがある。

11月の“ウッドハウス”。長い長い夜がアッという間に過ぎてしまう
楽しさがある。何かがある。クリスマスにはまだ早い……。あと1ヵ月
で新しい年というほどあたたかさななし、ただあるのは長い長い夜の
一日、何かがある。歌がある。笑いがある。何かがある“ウッドハウス”。

☆昼(11:30A.M.~7:00P.M.) コーヒー¥150 紅茶¥150 ビラフ¥250
サービスランチ¥300 夜(7:00P.M.~4:30A.M.) ビール(小)¥300
水割り(OLD)¥400 フィズ¥500 おつまみ¥100 平日11:30A.M.~
4:30A.M. 日曜5:00P.M.~0:00A.M. 第1・3日曜日休み

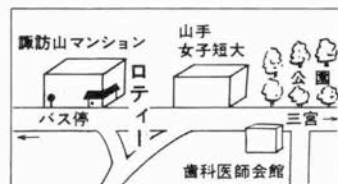
弾いて、唄って、飲んで、愉快なお店
それがpetiteなLOTIEです。

- 男性のお客様には洋酒各種
- 純珈琲党のお客様には手挽一品珈琲
- 舶来ネクタイ各種
- 女性のお客様にロティエのプライベートファッション

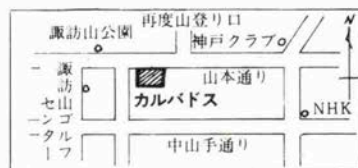
☆平日5:00P.M.~12:00A.M.

土曜日、日曜日、祭日は1:00P.M.~12:00A.M.

木曜日休み



ロティエ



カルバドス

★たとえば彼女と食事をしようとしてクルマに乗ったとする。さて、ど
こへ行くか? 静かな場所で、ムードのあるところというところ……。仲々
決まらない。か、もし、君が一度でも“カルバドス”へ行ったことがあ
るのなら、迷わず、クルマは諏訪山へ……。閑静な周囲にうまくマッチ
した欧風調のシャレたレストラン“カルバドス”。ピアノの音色と甘い
ボーカルがきつと彼女を魅了するだろう。君が洗練されたセンスを誇る
なら、“カルバドス”こそ君にピッタリの店なのだ。〈ピアノ&ボーカ
ル〉 月・水・金・土曜日 山本憲一、羽岡利幸、火・日曜日 阪本完
二、レギュラー 高橋真知子

☆ヘレミッツステーキ¥2,000 ビーフシチュー¥1,500
エビとパンのフライ¥800 ミートボールシチュー¥1,300
サラダ¥500 タンシチュー¥1,300
バレンタイン¥500 バレンタインボトル¥7,000
7:00P.M.~2:00A.M. 木曜日休み